

CASE 5 ありそうでなかった製品の開発 お持ち帰り革命

有限会社あまから

「有限会社あまから」代表取締役の野坂昌之さんに、同社が開発した環境に配慮した製品についてお話を伺いました。



初代(中央)、2代目(右)、
3代目 野坂昌之氏(左)

有限会社あまから

<http://g-amakara.com/>

所在地:福井市西谷3丁目1303
代表者:野坂昌之氏
事業内容:洋食店
TEL 0776-35-3109

お陰様で87年目

1934（昭和9）年創業の老舗洋食店「グリルあまから」を運営する同社は、デミグラスソースとは一味違った「エスパニヨールソース」のオムライスが有名で、子供からお年寄りまで訪れるお店です。そんな老舗洋食店が、環境に配慮した商品を開発することになりました。

お持ち帰り商品の開発

2014年にあつた消費税率引き上げで売り上げが落ち込んだのをきっかけに、今までやつてきたことを見直すことにしました。「この先、既存事業だけでは生き残れないと思い、お店を支える柱を増やしたいと思っていました。福井県の特徴に注目し、何かできないかと模索していたらお持ち帰り容器が目に入りました」と野坂さんは当時振り返ります。

そこで開発したのが、使い捨て岡持ちの「OKAMOCHI®」でした。レジ袋を使わずに積み上げて運ぶことができ、まるでアフタヌーンティーセットの様に写真映えする同製品は、独自性や先进性が高く評価され、同業者や

プラスチック問題に 胸を打たれる

2018年、同製品のバリエーションを増やしてゆき、

コロナ禍により高まったテイクアウト需要に広く対応すべく、「新分野スタートアップ支援事業」などを活用して新商品を開発中だそうです。脱プラスチックにより貢献することが期待されており、今後の動きにも目が離せません。

イベント会社から多くの問い合わせがありました。



使い捨て岡持ち「OKAMOCHI®」

脱プラスチック OKAMOCHI®

そこで、「使い捨て岡持ち」

ラスチックは一切使わないことにこだわるうと思いまして」と野坂さんは動画の衝撃を語ります。



OKAMOCHI®デリカフェ

を軸に開発したのが、「OKAMOCHI®デリカフェ」です。すべて紙でできた食品容器で、箸やコップも1つに収納して持ち運ぶことができる設計になっています。この製品に興味を示したのが、食品容器販売の大手「株式会社折兼」。同製品を販売することによって、全国から引き合いの声がかかっているそうです。